



生きもの調査

令和3年6月30日（水）大野町立西小学校4年生29名を対象に「松山水辺公園」で生きもの調査を実施しました。

① ほ かく 捕 獲

タモ網とかご網を使って、たくさんの生きものを捕まえました。

どんな生きものが
見つかったかな？



講師の方から、えさの配合やかごを置く場所、タモ網の使い方についてレクチャーを受けた後、水路の横から生き物をつまえました。



② どう てい 同 定

捕まえた生きものを分類し、数を記録しました。

つかまえた生きものは・・・

生き物の種類を調べることを「同定」と言います

- ・ヌマムツ（絶滅が心配される）
 - ・モツゴ ・タモロコ
 - ・ホトケドジョウ（絶滅が心配される）
 - ・メダカ（絶滅が心配される）
 - ・アメリカザリガニ（外来生物）
 - ・ドンコ（絶滅が心配される）
 - ・シオカラトンボのヤゴ
 - ・タイリクバラタナゴ（外来生物）
- など13種 131匹



野生生物保護推進員の方からそれぞれの生き物の特徴や生息環境などを教わり、水温、水質と生き物との関係や揖斐郡に多く生息している生き物についてくわしく知りました。



揖斐郡に住む希少生物や、岐阜県内の絶滅危惧種について講師の方から教えてもらい、身近な生き物、自分が住んでいる地域の環境への関心を深めることができました。